

第九代第十一特科隊長 津田尚樹 一等陸佐着任



(発行所)
11特OB会
(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645
(印刷)
メディアコーポ
レーション

主な記事

一面 第九代特科隊長着任行事について・第八代特科隊長離任行事について
二面 最先任上級曹長交代行事について・新着任中隊長及び幹部候補生紹介について
三面 隊の活動状況について
四面 転出者・転入者紹介・OBの方への連絡とお願いについて



▲巡閲を行う津田隊長



▲新着任隊長 津田 1等陸佐



▲旅団長による紹介



▲着任の辞を述べる津田隊長

隊は、令和六年三月二十一日(木)真駒内駐屯地において、第九代第十一特科隊長津田尚樹 一等陸佐の着任式を行った。津田一佐は、着任式に先立ち、真駒内駐屯地慰霊碑で、殉職者に対する哀悼の意を込め献花を行うとともに、旅団司令部庁舎で第十一旅団長に対する着任申告を行った。その後、駐屯地西体育館において、第十一旅団長による紹介を受けたのち、着任式では、要望事項「為すべき事を為せ」を要望し隊員へ徹底した。また、着任式終了後、晴天の中、観閲行進を行った後、隊舎正面にて記念撮影を実施し、隊の状況報告を受けた。翌日の二十二日(金)には、初度巡視を実施し、勤務隊舎、生活隊舎及び野外施設等を確認・点検し、特科隊の現状を把握するとともに、立会する隊員に声を掛けつつ、隊員とコミュニケーションを取りながら心気及び士気を確認した。

隊長要望事項



「為すべき事を為せ」

主要勤務歴

平成15年	3月	防衛大学校 機械システム工学科卒 (小原台)
平成16年	10月	第6地対艦ミサイル連隊 (宇都宮)
平成23年	3月	幹部候補生学校 区隊長 (前川原)
平成24年	8月	陸上自衛隊幹部学校 第58期指揮幕僚課程 (目黒)
平成26年	8月	第11特科隊 第1中隊長 (真駒内)
平成28年	3月	陸上幕僚監部防衛部防衛課編成班 (市ヶ谷)
令和2年	3月	教育訓練研究本部 教育部 (目黒)
令和2年	8月	第10特科連隊 第1大隊長 (豊川)
令和3年	8月	教育訓練研究本部付 高級幹部課程 (目黒)
令和4年	8月	富士学校特科部 戦術班長 (富士)
令和6年	3月	現職

第八代第十一特科隊長 柴田 慎一 一等陸佐 離任



▲部隊に敬礼する柴田 1佐



▲巡閲を行う柴田 1佐



▲離任隊長 柴田 1佐

隊は、令和六年三月十九日(火)西体育館において、第八代第十一特科隊長柴田慎一 一等陸佐の離任式を行い第十一旅団長による、離任部隊長の紹介のほか、巡閲、離任の辞、離任隊長の見送り等を実施した。離任の辞では、隊長上番間の特科隊への想い、隊員への想いが伝えられるとともに、特科隊の指揮を解かれた。見送りでは、特科隊の全隊員による気合の入った「Hey Hey 砲兵」と盛大な万歳三唱が行われたのち、全隊員の見送りのなか、柴田一佐は、第十三旅団司令部火力調整部長として、海田市駐屯地へ赴いた。

最先任上級曹長交代行事



▲離任の挨拶をする第七代 最先任上級曹長 荒川准尉



▲着任の挨拶をする第八代 最先任上級曹長 戸塚准尉

第七代 最先任上級曹長 准陸尉 荒川 努



第八代 最先任上級曹長 准陸尉 戸塚丈仁



隊は令和六年三月一八日(月)、真駒内駐屯地の西体育館において、最先任上級曹長交代行事を行った。
本行事は、離任最先任上級曹長の紹介、き章の返納、離任最先任上級曹長挨拶の順で進行し、引き続き、隊長から、着任最先任上級曹長に対する明示書の交付、き章の授与、着任最先任上級曹長の紹介、着任最先任上級曹長挨拶の順で実施した。上番最先任上級曹長、戸塚准尉は「最先任上級曹長の地位・役割を自覚し、職務においては隊長のため、隊員のために全力で力を注ぎメリハリをモットーに謙虚さを忘れることなく最先任上級曹長としての任務に邁進する所存です。」と決意表明し本行事は終了した。



▲巡閲を行う柴田 3佐



▲着任の辞を述べる柴田 3佐



▲第十代 第一中隊長 柴田創史 3等陸佐

隊は、令和六年三月十九日(火)真駒内駐屯地西体育館において、第十代第一中隊長 三等陸佐 柴田創史の着任式を行った。
当初、第十一特科隊長による、着任中隊長の紹介を実施した後、ラッパ吹奏のもと、巡閲を行った。
着任中隊長、柴田三佐は着任の辞で、統率方針「強くあれ」要望事項「実践躬行」を要望し各隊員に徹底させた。
着任式終了後は、初度巡視を実施し、勤務隊舎、生活隊舎及び野外施設等を確認・点検し中隊の現状を把握した。

新着任中隊長紹介



▲特科隊長より階級章の授与



▲行事参加者全員で記念撮影



▲決意表明する串間 3尉

隊は、令和六年三月十六日(土)真駒内駐屯地において、幹部任官行事を実施した。
本行事は幹部任官を祝福するとともに、野戦特科幹部として、必要な資質を涵養する目的で実施された。
当初、駐屯地において、隊の有志が見守るなか、非常呼集訓練を行い、駐屯地内の道路を駆け足及び要救護者の救護搬送等の訓練を乗り越え、見事、任務を完遂し、幹部任官式に臨み、任官申告、決意表明を行った。
任官者の串間三尉は本行事を終え、幹部の重責を再認識するとともに、気持ちを新たに、初級幹部として第一歩を踏み出した。

幹部候補生紹介

新年安全祈願

隊は、令和六年一月十日（水）真駒内駐屯地において、新年安全祈願を行った。
本安全祈願は、事故防止の祈願と安全意識の徹底を図るとともに、部隊の団結強化及び士気の高揚を図る目的で実施された。
安全祈願後には、全隊員での記念撮影を実施し、新たな年の門出を迎えた。



▲隊長年頭の辞



▲記念撮影

令和五年度 特科隊山地機動訓練

隊は、令和六年一月八日（月）から十七日（水）までの間、真駒内駐屯地、北海道大演習場西岡地区及び赤井川村キロススキー場周辺地域において令和五年度山地機動訓練（冬季）実施した。
当初は、真駒内駐屯地において、段階的な訓練を行い、生地訓練では、冬季における各種行動について訓練し、冬季の山地機動におけるリスク管理と安全管理を重視した訓練を行い、多くの教訓を得る事が出来き、第十一特科隊の山地機動能力向上など、実りのある訓練となった。



▲ブリッジ構成訓練



▲救助訓練

第七十四回さっぽろ雪まつり

隊は、令和六年一月七日（日）から二月三日（土）までの間、大通り四丁目STV広場において、第七十四回さっぽろ雪まつり「ウポポイ民族共生象徴空間×ゴールデンカムイ」の大雪像制作の任務につき無事、大雪像を完成させた。



▲大通り四丁目会場第七十四回さっぽろ雪まつり「ウポポイ民族共生象徴空間×ゴールデンカムイ」



▲荒削り作業



▲初の女性技術員 藤澤 3 曹



▲11特OB会、森田様 寺本様による激励



▲やまぶき会、大川会長による激励

小樽雪あかりの路

隊は、令和六年二月四日（日）から二月十七日（土）までの間、小樽市が主催する「第二十六回小樽雪あかりの路」の運営支援、会場造成及び吹き出し支援を実施した。



▲激励に来られたやまぶき会会長の大川様



▲ザンギ待ちの行列



▲やまぶきザンギ調理中

北後志地区自衛隊 入隊予定者激励会

隊は、令和六年二月十八日（日）小樽市において、自衛隊家族会北後志地区協議会が主催した北後志地区自衛隊入隊予定者激励会に参加協力した。



入隊予定者と記念撮影する北後志地区協議会「武市会長」自衛隊小樽協力会「大川会長」



▲ラッパ吹奏で入隊予定者を激励する

三月転出者

隊本部

一等陸尉 甲斐 正剛
第十一旅団司令部 (真駒内) へ

一等陸尉 蘭牟田 卓
第八師団司令部 (北熊本) へ

本部管理中隊

二等陸尉 宮崎 柁勝
防衛大学校 (小原台) へ

陸曹長 市田 由理佳
第十一旅団司令部付隊 (真駒内) へ

一等陸曹 佐藤 万昭
第一陸曹教育隊 (俱知安) へ

一等陸曹 矢口 雅也
函館駐屯地業務隊 (函館) へ

二等陸曹 西岡 専次
第五特科隊 (帯広) へ

二等陸曹 松本 真広
北部方面総監部付隊 (札幌) へ

二等陸曹 佐藤 陽介
東北方面特科連隊 (岩手) へ

第一中隊

一等陸尉 谷 敏臣
装備実験隊 (富士) へ

一等陸曹 齋藤 智也
東部方面特科連隊 (宇都宮) へ

第二中隊

一等陸曹 池田 大助
水陸機動団 (相浦) へ

二等陸曹 三浦 義弘
第一陸曹教育隊 (東千歳)

三等陸曹 中村 慎也
西部方面特科連隊 (久留米) へ

第三中隊

二等陸曹 渡邊 駿
第十一旅団司令部付隊 (真駒内) へ

二等陸曹 鈴木 琢也
板妻駐屯地業務隊 (板妻) へ

三等陸曹 工藤 剛
特科教導隊 (富士) へ

新ほ地での活躍を
祈念いたします。

三月転入者

隊本部

一等陸尉 愛甲 博之
富士学校 (富士) より

一等陸尉 指原 和男
第二特科連隊 (旭川) より

一等陸尉 佐藤 弘勝
第四特科群 (上富良野) より

本部管理中隊

准陸尉 山本 武志
第三師団司令部付隊 (千歳) より

陸曹長 緑川 聡
東北方面特科隊 (仙台) より

陸曹長 内匠 謙太
第二百二十教育大隊 (真駒内) より

一等陸曹 安部 義文
水陸機動団 (相浦) より

一等陸曹 寺島 久幸
第五特科隊 (帯広) より

二等陸曹 金澤 友明
第一陸曹教育隊 (俱知安) より

二等陸曹 妻島 巧弥
第二十五普通科連隊 (遠軽) より

三等陸曹 阿部 莉央
第六施設大隊 (神町) より

三等陸曹 三浦 悠希
第六即応機動連隊 (美幌) より

第一中隊

一等陸尉 丹木 秀紀
特科教導隊 (富士) より

陸曹長 渡部 恒
宮古警備隊 (宮古) より

二等陸曹 遠田 広美
第十即応機動連隊 (滝川) より

三等陸曹 石黒 歩斗
特科教導隊 (富士) より

第二中隊

二等陸曹 阿武 啓太
第一陸曹教育隊 (東千歳) より

第三中隊

二等陸曹 山崎 博史
第二特科連隊 (旭川) より

二等陸曹 円谷 旺司
東北方面特科連隊 (郡山) より

ようこそ

第十一特科隊へ

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 簀本

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。が、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人がご逝去された場合は、死亡日を含め五日以内以最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さい。また、ことをご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他

第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 米田

各中隊のシンボルマーク

本部管理中隊	第1中隊
第2中隊	第3中隊

やまぶき会から贈呈された旗

第十一特科隊

陸海空自衛官募集